

令和6年度入学式 学長式辞

比治山大学・比治山大学短期大学部に入学された皆さん、おめでとうございます。

春光麗らかな今日の良き日に、皆さんを新たな仲間としてお迎えできたことを、私たち教職員一同、大変嬉しく思います。まずは、皆さんのこれまでの努力に敬意を表します。皆さんをこれまで励まし、支えてこられたご家族や関係者の皆さまも、たいへんお喜びのことと存じます。本学を代表して心よりお祝いを申し上げます。また、入学生の皆さんを祝福するために、ご多用の中ご臨席いただきました、比治山学園理事長 木谷 健 様をはじめ、来賓の皆様は厚くお礼を申し上げます。

皆さんは、これからのキャンパスライフについて、多少の不安を感じながらも、さまざまな希望や期待を胸に抱いて今日の日を迎えられたことと思います。私たちも、皆さん全員に実りある学生生活を送っていただきたいと、切に願っています。そのために心に留めておいていただきたいことを一つお話しします。

本学には、初代学長 国信 玉三 先生の教育理念に基づく建学の精神・理念があります。それは、「悠久不滅の生命の理想に向かって精進する」つまり、今を生きる私たちは、久遠の過去から連綿としてつながる存在であり、これを未来に繋げられるよう、現在を精一杯生きる人間でありたい、またそのような人間を育てたいとの願いです。建学の精神については、授業などであらためてお話ししますが、現在ある自分や社会は、決して切り離されて孤立したものではなく、過去から引き継がれ未来へと続く悠久の歴史の連続の中に位置づけられるものであるということは是非覚えておいていただきたいと思います。

つながりといえば、皆さんは社会や自分以外の人とつながった存在でもあります。そして、大学生としての生活を始めると、そのつながりが今までに比べて広く、また多種多様になります。もちろん中学や高校にもいろんな人がいて、クラブ活動や生徒会で意見をまとめるのが大変だったという経験をした人も多いと思います。しかし、大学生になるとつながりの多様性は、格段に大きくなります。大きくなりますというよりも、むしろ、意識して多様性に溢れたつながりを積極的に作っていったほうが正しいかもしれません。皆さんは、大学生活の中で、また大学を卒業・修了したのち社会で活動する中で、世代や立場、考え方の異なる人や組織と一緒にさまざまな課題の解決に取り組むこととなります。その時に、皆さんを助けてくれるのが、この多様なつながりです。社会や他者とのつながりを大きく、強くしていくためには、皆さん自身の中に、多様性を育てていくことが大切です。多面的な視点や価値観に触れること、同質ではない経験を幅広く持つこと、そして新たな自分に気がつくこと、皆さんには、そうした発見をたくさん体験してほしいと思います。

比治山大学では、キャンパス内の教室での学びはもちろん、皆さんが社会や他者とのつながりを豊かにするための、さまざまな機会を設けることにも力を入れています。正課の講義や実習で知識やスキルを学ぶことに加えて、サークルやボランティアの活動を通じて多くの友人、知人を

作る、留学により文化的背景の異なる人々と交流する、社会貢献や地域の方々との連携をとおして自分の行動が社会に変化をもたらしうることを実感するなど、さまざまなことにチャレンジしてみてください。チャレンジには、失敗がつきものですが、失敗を恐れることはありません。

4年間あるいは2年間、充実した学生生活を送りましょう。

一緒に、力一杯学びましょう。

行動しましょう。チャレンジしましょう。

失敗を、自分の成長につなげましょう。

私たちは、そんな皆さんを全力で応援します。

本日から始まる比治山大学・比治山大学短期大学部での新しいキャンパスライフが希望に満ちた未来につながることを祈念し、またご参列いただきましたご家族の皆様には、本学の教育に格別のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げて、式辞といたします。

本日は誠におめでとうございます。

令和6年（2024年）4月3日

比治山大学・比治山大学短期大学部
学長 宮谷 真人